

経済トピックスと解説

投資信託の基礎知識 勉強から始め資産形成へ (8月19日 日経朝刊)

今年6月末に株式投資信託(公募)の資産残高が過去最高を更新するなど、投信人気が高まっている。「私も始めてみよう」と思う人も多いはず。まずは投信とはどんな商品なのか、基本的な知識をおさえておこう。

《解説》

- (1) 投資信託って一体何なのか。まずはその構造をお話しします。投資信託を企画する会社(委託会社って言います)がお金を皆様(投資者)から集め、ここにファンドマネジャーがいてこの人が資産運用します。そして稼いだお金を皆様に分配するのです。
- (2) セミナーでもお話ししていますが、投資信託の特徴は次の3点です。(イ)一つの投信の中身にはいろいろな資産(国内株、海外債券など)が含まれていて分散投資になっている。(ロ)専門家が運用するので、少なくとも素人が自分で投資するよりも良い成果を出すと考えられる。(ハ)ファンドマネジャーなど多数の関係者が関わるので、手数料が高い。
- (3) 良くわからないが、勧められるままに投資信託を買ったというお話をよく聞きます。でも、実は投資信託そのものがよくわからないのです。初めての投資で右も左もわからないのに、中身の見えない投資信託をとりあえず買うというのは、大変危険な買い物と言わざるを得ません。銀行や郵便局が売っているのだから、まさか“間違い”はありませんが、よく吟味する必要があります。少なくとも何の勉強にもならないと私は思います。(この点新聞記事とは異なります。)
- (4) 投資を始めるときには、一般には危険だと言われますが、まずは小額だけ自分の知っている優良会社などの株を購入することをお勧めします。この経験は大変なもので、大いに経済界や政治にも関心が出てきますし、投資の勉強にもなります。その後少し状況がわかってから投資信託を買われるのが良いでしょう。投資信託と一口に言っても中身は千差万別です。投資信託の買い方、株の購入等についてはスタカFPオフィスをご利用下さい。

定年後は介護の現場へ (8月20日 日経朝刊)

企業OBから一転、これまでおさなりにしていた地域社会のつながりに目を向け、介護の世界で身を役立てようというシニアが増えつつある。福祉の担い手であった主婦パワーにシニアが入り込んでいけば、今後は介護でも「男女共同参画」が期待できそうだ。

《解説》

- (1) 皆様もご承知のように、高齢化社会の到来により介護の問題は大きな社会的あるいは個人的問題となっています。全体としての仕組みは、2000年に公的介護保険がスタートして、介護に携わる企業や人達も増えてきて、徐々に形は整いつつあるように見えます。
- (2) しかし、現場の実態は予算不足と人手不足の問題が大きくなっているようです。介護保険の枠内サービスを提供するにはヘルパー2級の資格が必要ですが、それ以外の生活支援なら資格は不要とのこと。そこで企業OBのボランティア活動がいま注目されているのです。
- (3) 企業OBが介護ボランティアに臨む際の心構えとして、新聞は次のように伝えています。  
(イ)ボランティア活動は対等な関係の上に成り立つ 企業のような上下関係も年齢関係もない。すべて話し合いで進めていく。(ロ)効率追求はなじまない 話し合っているものを見つけていくには時間がかかる。地域活動にムダは付きもの。(ハ)自分の価値観を押し付けない 良かれと思って相手には迷惑なこともあり、相手の意向を尊重することが大切。
- (4) 「最初から余力まず、庭の草むしりでも犬の散歩でも換気扇の掃除でも何でも良い、近所に支援を必要としている人がいないかを見直すことから始めてはどうか。素人でもやれることはたくさんある。」とのNPO法人の方の言葉が印象的です。

## 株式状況と解説

### 上場企業負債依存度30%割れ (8月25日 日経朝刊)

上場企業の金利上昇への抵抗力が増している。有利子負債依存度は2005年度末で27%とバブル後初めて30%を下回った。実質的に負債が無い企業も666社と3社に1社にのぼる。ゼロ金利解除を機に予想される金利上昇が収益に及ぼす悪影響を軽減しそうだ。

(1) 企業の業績が良い中、負債が圧縮され負債よりも手元資金のほうが上回る状態(手元資金超過)の企業も3社に1社となっています。着実に日本企業は力をつけてきており、毎回申ししていますが、日本の景気はとても良い状況です。

(2) 週足でチャートを見ると、この7月末から日本株は既に上昇トレンドにあると読み取れます。前月号で16,000円の壁をなかなか抜け切らないと書きましたが、8月16日にあっさりと抜けて以後ゆっくりと上昇中です。

なお、この記述は株式等の売買をお勧めするものではありません。売買の判断はご本人でなさってください。

## 10月家計情報セミナーのご案内

テーマ： 退職間近・退職後サラリーマン家庭のファイナンシャル・プランニング  
退職後の家計の見直し(簡単な収支表の作成)  
退職後、長い時間の過ごし方の課題とその対処法(ライフプランの作成)  
この時期に大切な資産運用、年金を解説

日時： 10月21日(土) 10:00~11:50

場所： つくば国際会議場(つくば市竹園2-20-3) 403室(4階)

参加費： 1家族500円(Tel、Fax、E-mailでご予約下さい)

無料面談：後日、セミナーに参加された方は、無料にて1時間程度の面談を行うことができます。

## 会員募集中

《 通常会員に加えてメール会員を募集します。詳細はお問い合わせください。》

メール会員：eメールにより情報を交換して、家計の問題点などのご相談に応じます。会員登録後は家計の全般をサポートします。主としてeメールでの情報交換によりお付き合いをいたします。時間の無い方や遠方の方もご利用いただけます。

## 個別面談実施します

本レポートを配布させていただいた方には、1時間程度の無料個別面談をお受けしています。ご希望の方は電話、FAX, eメールにて連絡下さい。日程調整をさせていただきます。なお本個別面談以降の面談は1時間3千円を申し受けておりますので、ご承知おきください。

以上

このレポートの記述は、株式等の売買を推奨するものではありません。株式等の売買は自己の責任において行って下さるようお願いいたします。

ご意見、不明点など御座いましたらお気軽に連絡下さい。なお複写、転載はご遠慮下さい

発行人：スズタカFPオフィス 代表 鈴木隆志 茨城県つくば市東新井4-2メゾンヴェールつくば612号  
Tel,Fax: 029-861-0778 E-mail: t.suzu@nifty.com